



岸田政権の少子化対策

財源も示さず数値目標もない
また絵に描いた餅に終わるのでは…

「経済成長と少子化対策を車の両輪に」と言った時点でおかしい
と思いませんか？

大企業や富裕層の負担見直しに一切触れず、財源確保のめどがありません。だから数値目標を持てない。選挙前負担増は禁句に、聞こえのいい政策の羅列をしただけです。少子化が喫緊の課題と認識しただけまし、という程度では？
テレビ会見では、出産一時金など今すぐに実施していることと10年後の実現可能かわからない希望まで一緒にしゃべっていました。共産党は軍拡をやめ、優遇税制の是正で高すぎる学費の引き下げをという提案をしています。

日本共産党	岸田政権
授業料半額、 入学金ゼロ、 奨学金は 給付制に	高すぎる 学費の 引き下げ 言及なし
希望する人を 正社員に、 長時間労働を なくす	安心して 子育てできる 働き方 具体策なし
大軍拡をやめ、 大企業・富裕層 優遇税制を 是正する	責任ある 財源策 大企業・富裕層優 遇に手をつけず、 大軍拡に税金投入 で袋小路に

部活動を安易に受益者(保護者)負担論で教育から切り離すのは危険です！

「教員の長時間労働を解消するべきだ」

「部活動が子どもの人間発達を促してきた。学校教育から切り離してはいけない」

「部活動が民間企業のもうけの手段になったり、勝利至上主義にながらないか？」

「受益者負担では、家庭の経済力による文化・スポーツの機会均等に格差がうまれる」

部活動の改革は失敗の連続です。私が中学生の頃「必修クラブ」という週一の授業時間内クラブがあり、これを教員の仕事として、部

活動は一旦学校教育の管轄外になりました。しかし担い手や財源不足で地域に受け皿はできず、教員の善意で続けられた部活動が再び指導要領に位置づけられました。

その後、1988年の指導要領改定を起点に地域移行が再び進められようとなりましたが、これも失敗に終わっています。逆に特色ある学校づくりのかけ声のもと、部活動の成績での高校推薦入試、教員採用試験での部活動指導評価などもしながら、結局安上がりな教員善意による部活動の仕組みを温存させてきたのです。

活動は一旦学校教育の管轄外になりました。しかし担い手や財源不足で地域に受け皿はできず、教員の善意で続けられた部活動が再び指導要領に位置づけられました。その後、1988年の指導要領改定を起点に地域移行が再び進められようとなりましたが、これも失敗に終わっています。逆に特色ある学校づくりのかけ声のもと、部活動の成績での高校推薦入試、教員採用試験での部活動指導評価などもしながら、結局安上がりな教員善意による部活動の仕組みを温存させてきたのです。

地域主権(ムニシパリズム)という希望 公共(コモンズ)の回復を

杉並区長になった岸本聡子さんの「地域主権という希望」という本を読みました。

ヨーロッパでは今、新自由主義を反省し、公共をどんどん狭めて民営化し、企業のもうけに税金を使ってきた流れを改め、再び公共の大切さを取り戻そうという地域主権の流れが広がっています。

岸本区長は「対話と合意」を掲げています。掛川の市長も似たことを言っていますが、私には向いている方向の違う別物に思えます。

本気で女性の地位向上を目指すなら、女性比率が高く1年更新の公務員パートである会計年度任用職員や、派遣労働前提の委託業務拡大を市役所が率先してやるのは間違いだと思います。

女性が正職員で仕事をし続けられる環境づくりとして仕事復帰時の保育料の無償化は求められていると思います。



今回の3度目の改革は「教育の新自由主義」にもとづき、学校をスリム化し、子どもの文化スポーツ活動をサービス産業として自己責任、受益者負担にしていく流れの中で、推進されています。現在は休日の部活動の地域移行は言っていますが、平日にまではまだ踏み込んでいません。無理だと考えているということだと思います。

①子どもの文化スポーツ活動にはお金がかかる。財源保障をしないかぎり進まない。保護者負担ではなく、公的責任が必要である。

②教員の勤務時間の問題も大切だが、子どもの権利保障としての視点もとても重要。

私は、「子どもと教員双方の権利が守られるように、子どもにとって必要な教育活動としての部活動と教員の労働条件整備を同時に進める視点をもつ」というスポーツ教育学の先生の指摘が正しいと思います。性急に進めてしまった改革で後悔しないためにも、部活動を結論ありきではなく、論議する必要を感じています。(参考文献 神谷託 部活動の地域移行と新自由主義 人間と教育118号)